

第39回 青年部三聖地巡拝錬成

聖地に息づく日本精神を感じ、国恩報謝の祈り捧ぐ

8月5日～7日、4年ぶりの青年部三聖地巡拝錬成が総勢419名、バス15台の2団編成にて挙行された。未だ続く新型コロナウイルスの流行や熱中症の危険など困難の多い道中ではあったが、心一つに各聖地を巡り、国家の繁栄と世界平和への祈りを捧げた。



橿原神宮。雨上がりの爽やかな風が巡拝団を迎えた



左から中西神宮広報課長補佐、長倉橿原神宮祭儀部長、上村御寺泉涌寺長老猊下。各聖地で丁寧な挨拶を頂戴した



外宮前広場で杉崎竜也青年副本部長が結団宣言



各聖地で各人の「祈りの時間」が設けられた



御寺泉涌寺。猛烈な暑さに汗を滴らせつつ参進



宝塔前にて東京ブロック鼓笛隊が「青年錬成歌」を力強く演奏

5日夜、全国各地を出発したバスは、6日早朝には伊勢神宮・外宮に到着。午前6時半より第1団の結団式が執り行われた。初めに岡野英夫理事長が、脈々と伝えられた日本精神の息づく場所が三聖地であり、聖地に浸る中で一人ひとりがその精神を感じ取ってもらいたいと、参加者らを激励した。続いて中西直樹・神宮広報課長補佐より歓迎のご挨拶を賜り、外宮を参拝した。続く内宮でも清涼な神気の中を参進し、御正宮にて一心に祈りを捧げた。一方、第2団は午前10時に外宮前広場に集結、雨の降り注ぐ中で結団式を行い、同様に参拝を行った。

雷雨が危ぶまれていた橿原神宮では、第1団が到着した午後1時には雲の切れ

間から青空が広がっていた。今回はバスごとの参拝のため、順に第2鳥居より参進、内拝殿廻廊で修祓を受けた後、建国の祖神に祈りを捧げた。長倉健一・橿原神宮祭儀部長は挨拶にて神武天皇の建国の御精神に立ち返り、共存共栄こそ現代に求められる願いと述べられた。午後4時に到着した第2団も降り注ぐ蝉の大合唱の中で参拝を終え、京都へ発った。

最も猛暑に見舞われた7日は、午前8時半に第1団、午前10時に第2団が御寺泉涌寺に参集。仏殿参拝の後、月輪御陵、霊明殿にて皇祖皇霊に祈りを捧げた。上村貞郎・御寺泉涌寺長老猊下は、乱れた現世相における本会の「感謝」の教えの必要性を説き、「しんどいことはたくさん

やると、その分、ええことがあります」と若い青年部員らに伝えた。

その後、解脱会金剛宝塔へ向けて参進、金剛さまに巡拝錬成完遂をご報告した。岡野理事長は総評にて、道中の様々な困難を乗り越えた参加者らを賞賛。また米国解脱教会から特別参加したミカエラ・ロドリゲスさんが聖地で味わった感動を語り、青年部員の温かい歓迎に感謝した。最後は東京ブロック鼓笛隊の演奏で「青年錬成歌」を合唱、解団宣言をもって第39回青年部三聖地巡拝錬成を終了した。

今回、例年の熱中症対策の他、感染症対策が呼びかけられた甲斐あって、行程中の抗原検査でも陽性者は見られず、全員で錬成行を完遂することができた。

解脱金剛 孟蘭盆法要

御寺で上村長老猊下を導師に厳修



上村長老猊下を導師に営まれた御法要

8月13日、解脱金剛尊者の孟蘭盆法要が御寺泉涌寺において執り行われた。今回の法要には、解脱会本部役員をはじめ地元の京都を中心に近隣地区の支部長や会員など約20名が参列した。去年に引き続いて、新型コロナウイルスの感染症対策で参列する人数を制限した中での開催となった。

まず午前11時に開式となった霊明殿の儀では、皇祖皇霊に対する本部役員らによる焼香の後、藤原博内務局長の先達により参加者全員で般若心経一巻を念唱

した。

その後、参加者全員が妙応殿に移動。御寺泉涌寺長老・上村貞郎猊下を導師として、職衆各位による金剛さまと会員各家先亡諸精霊の法要が厳かに営まれ、参加者は特別に設けられた焼香台にて祈りを捧げた。続いて、田中英次京都教区長の先達により勤行を一同で行った。

終了後、挨拶に立たれた上村長老猊下より「本日の法要は泉涌寺独特の供養法により解脱金剛尊者、岡野聖法長老さま、そして解脱会員の方々各家の御精霊に対



霊明殿にて皇祖皇霊へ感謝の誠を捧げる

してさせていただいたもの」とご挨拶を頂戴し、参加者一同は御寺泉涌寺において法要を営んでいただける有り難さを心より深く感じた。

続いて解脱会を代表して挨拶に立った岡野英夫理事長は、まず上村長老猊下を導師に職衆と共に御法要を営んでいただいたことへの感謝の言葉を述べた。さらに、「新型コロナに加え、新たな感染症が増大しており、人心も大いに乱れています。そうした人々を救う役目が私たち解脱会員にあります。お互い様に身体を大切に保ちつつも、金剛さま絶対の信念を持って世相善導・人心救済に突き進んで参りましょう」と強調した。

解脱会ホームページ
会員専用ページのパスワード変更しました！

全国各地道場で孟蘭盆法要

孟蘭盆法要が、本部道場では旧盆の7月15日、御霊地ならびに各直轄道場では8月15日、それぞれ感謝日行事に先立って行われた。

本部道場では午後1時より、藤原博内務局長が導師となり、御神前右側に設けられた祭壇に向かい、開教以来先亡者精

霊、会員各家先祖代々之精霊、各種戦役戦没者精霊、法界無縁萬霊、本年新盆を迎えられた支部長以上の精霊 = 名簿は別掲 = に対し、会場が一体となって般若心経を唱えながら真心の供養を厳修し、先人、先覚者の霊魂へ感謝の祈りが捧げられた。



藤原内務局長を導師に厳修

令和4年 新盆特別法要精霊 (敬称略)

渡辺 孝彦	川崎中島	顧問
齋藤 全弘	埼玉北本宿	元相談役
斎藤 重信	大久保	元相談役
井上 宗弘	三鷹南	参与
小林タマ子	三島二日町	参与
西澤 周	滋賀湖東	参与
井野口勝悟	京都洛東	参与
福原 忍	兵庫滝野	参与
藤倉 健雄	幡ヶ谷本町	元参与

島田 光昭
中村 恭彰
山口 忠之
宮崎 薫
原 一雄
飯尾さかゑ
津田 新平
久島 昭二
朝比奈恒男
野田 善哉
小林 寛子

大阪瓦屋町	本部教務員
新潟葛塚	名誉支部長
川崎宮崎台	名誉支部長
中野上高田	名誉支部長
蒲田	名誉支部長
道後石手	名誉支部長
佐賀鳥栖	名誉支部長
佐賀有田	名誉支部長
渋川行幸田	支部長
元釜石浜町	支部長
元兵庫下三方	支部長

第165回 健康学園コース

渡辺顧問へ感謝の天茶供養も



講師の説明を受けながら正しい形を確認した解脱3分間体操

7月30日・31日、御霊地・解脱研修センターにて「健康指導シートに基づく健康指導の基本を繰り返して学び、支部や家庭、茶話会で活用できる人になる」を

テーマに「第165回健康学園コース」が開催され、2日間で57名が参加した。今回の健康学園は両日共に同一のプログラムであったが、30日に呼吸法、31日には小田敏郎相談役から養生法について学んだ。小田

相談役は、金剛さまが「有食」を「やしなわれるにあり」と説かれたことを述べ、さらに、家族への食事は家族の健康を守る第一要素である意味を込めて「台所に

立つ者は皆台所の薬局長である」ということを話された。また心身の状態が身体に表れるのを見ることから、「健康学園は自分自身を認識するため」と伝えた。

両日では、健康指導について基本の講義や足心道の概論と実習を学んだ。他には「解脱3分間体操」について、まず講師の説明を受けながら正しいやり方を確認した後、参加者全員で実践し、日々継続していくことの大切さを学んだ。

さらに、体位矯正法の講義では概論を学んだ後、「肝・腸の見分け方」「体操法」など班に分かれて実習で学び、自分の生活を見直す良い機会となった。

最後に終礼行事の後、健康指導の普及などにご尽力をされた渡辺孝彦顧問へ天茶供養を行い、渡辺先生へ感謝の祈りを捧げた。

中部圏域・ダリア女子会

各世代女性が学びを深め



幅広い世代の女性が真摯に学ぶ

中部圏域女性部主催のダリア女子会オープン講座が7月24日(日)に中部道場で開催され、女性活動推進会議座長の岡部靖子本部教務員を講師に、学生か

ら社会人、子育て世代、シニア世代と幅広い世代の76名が「自分らしさ」をテーマに解脱女性の在り方を学んだ。

セッション1では「女性の活動プラン」に沿って、自分らしく生きるために自己を見つめることは解脱のみ教えに通ずるという観点に沿った講話があり、今後の女性活動への学びを深めた。

セッション2では世代毎にグループに分かれ、「講話を受けて自分たちにできることは何か」と、意見を述べ合ったり個々

の悩みを全員で検討したりと、時間が短く感じるほど充実した内容となった。

参加者からは、「女性の活動プランを正しく知る機会となった」「若い世代を応援できる自分でありたい」「同世代の人とゆっくり話せることが貴重な時間だと感じた」などの声があった。

また母親と参加した小学生以下の子供たちは、現役教師のスタッフ2名の指導を受けながら持参した夏休みの宿題に取り組んだ他、氷水と塩を混ぜたピーカーにジュースが入った試験管を入れてアイスキャンディーを作る実験を楽しんだ。

今回、同世代や境遇の似た者同士が同じ時間を共有することで、学びが更に深まることを学んだスタッフから「今後も参加者の声を参考に、生涯学び合える場を提供したい」と声が上がっていた。

東京第4教区・4Kフェス

親子孫が楽しく交流



リモート開催によって多くの家庭が参加

6月19日、東京第4教区の親子孫行事の「4Kフェス」がリモート開催され、52名が各家庭から参加した。今回は午前中に開催し、拝礼行事、

宮崎達郎教区長の開会挨拶、青年部のレクリエーション、各支部で事前撮影した会員出演のクイズ動画で盛り上がった。

後半はメインプログラムの「山手線すごろく」や絵本『ちぎゅう』の朗読をはじめ盛りだくさんの内容となった。

リモートによる教区行事も回数を重ねる中、スタッフの入念な準備もあって楽しい日曜日のひと時となった。

東京第4教区・前期仲介者研修

次世代へつなぐために



若い世代の継承を念願して研鑽

東京第4教区では7月24日、「神関係の理解をより深め、同時に各支部の御五法修業の状況を共有する」を目的に、「前期御五法修業仲介者研修」を大岡山支部で開催し支部長ら21名が参加した。

同研修では、宮崎達郎教区長の挨拶、田島嘉久修法担当から神関係について学んだ後、班毎に支部の状況と課題を討議。若い世代の仲介者育成と御修業への参加を促すことの難しさが浮彫りとなり、現状の情報を共有していくことを確認した。

11月に行われる研修では参加世代の幅を広げ、実修で学びをより深める計画である。

スポットライト

開教師に向けて日本で研修

ミカエラ・ロドリゲスさん (34歳)

米国解脱教会の開教師補佐であるミカエラ・ロドリゲスさん(以下、ミカさん)が、7月27日から8月10日まで来日し、開教師昇格に向けて研修を受けた。

研修は翌28日より本格的にスタート。初日に太神様や三建碑など、各所を職員から説明を受けながら参拝して御霊地の尊さを再確認したのを皮切りに、本部指導員より修法と健康指導の指導を受け、また御霊地職員から御霊地道場御神前やお山各所の給仕の仕方などを学んだ。さらに8月5日から

7日に開催された「第39回青年部三聖地巡拝錬成」に参加し、全国の青年らと共に世界平和への祈りを捧げた。研修を終えたミカさんは次のように抱負を述べた。

「日本で解脱の仲間に出会えたことは嬉しい。米国では、仲が深まり絆を強くした家族が増えるように努力したい」

ミカさんは帰国後、さらに現地で学びを重ねた後、9月の米国秋季大祭で行われる洗礼式で正式に開教師に任命され、 sacrament 教会を中心に従事する。



伊勢神宮・外宮にて。巡拝錬成の参加に喜びの笑顔

北関東圏域・黒姫で草取り奉仕

天茶を労わりつつ従事



雄大な黒姫山の麓に広がる天茶畑で草取り作業

ではに至らず、むしろ作業に適した恵みの雨となった。

黒姫山の麓に広がる天茶畑では、天茶の株を覆うほどに伸びた雑草を広い場所では機械で刈り取り、株同士が接するせまい場所では天茶を傷つけないよう手作業で取り除くなど、天茶を

労わりながら取り組んだ。また参加者同士が互いの体調を気遣いつつ作業に励む中、会員、出張所職員、新法縁者との会話が弾み楽しい交流が生まれた。

会員からは、奉仕した喜びと、天茶を耕作管理する方々へ感謝する声が多く聞かれた。

北関東圏域では有志を募り、長野県黒姫出張所にて天茶畑の草取り奉仕を行った。初の試みとなった今回、7月5日～8月3日までの活動日と定めた11日間には、延べ178名が参加した。活動日の多くが降雨の予報だったが中止ま

京都教区・支部幹事研修会

今後の実践課題を共有



柴田道場長から支部幹事の重要性を学ぶ

全員で共有。続けて柴田道場長から、来年度からの関西圏域の動向について説明を受け、さらなる発展へ向けて意識を高めた。また、「幹事」「女性」「子ども・青年」の役目毎に分かれ、

京都教区では7月24日に支部幹事研修会を関西道場にて開催し、柴田正美道場長が講演した。研修会では、まず柴田道場長が「支部における幹事の役目・心得」をテーマに講話し、支部長・会員のサポート、実践母体である支部の大切さ、幹事の重要性を参加者

「支部・教区に於いて立教100年に向けての活動」「支部・教区での女性活動の活性化」「どのようにしたら青年部(子供会)が復活できるか」を各々で討議。続く各発表を受け、立教100年に向けて教区・支部活性化への今後の実践課題を参加者で共有した。

10月度研修「第166回健康学園」の案内

今回の健康学園は、22日は足心道、23日は体位矯正法、それぞれの実技習得に特化した内容としてプログラムを構成しております。家族の健康の維持増進に役立ち、茶話会や支部で即実践できるようになります。法縁を広げるべく、家族や支部の仲間、縁ある方とご参加ください。



- 開催日 10月22日(土)/23日(日)(1日ずつ)
- 会場 御霊地・解脱研修センター
- 目的 「健康指導シート」にて健康指導法の基本を繰り返し学び、〈心・身・霊〉三位一体の健康の普及ができる人になる
- 対象 会員と家族、法縁者
- 申込 2人1組のペア参加推薦。一人参加も可
- 締切 9月22日(定員30組/日。先着順)
- 研修費 1人3000円/日(開講式から終礼行事)
1人6000円/両日

- 宿泊費 研修前日の宿泊には、【1人1000円】別途必要です。ただし、食事は各自ご用意ください。
- 問合せ 解脱会教育部
TEL 03(3353)3667(教育部直通)
TEL 048(593)0190(御霊地健康指導室)
FAX 03(3353)3708(教務局共通)
※詳細は8月1日付本部通信